

平成15年度11月補正予算案主要事項説明

府立医科大学
保健福祉部

事業名	重症急性呼吸器症候群（SARS）対策費												
予算額	60,000千円	新規・継続の別	継続										
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 今冬、再流行が懸念される重症急性呼吸器症候群（SARS）の患者が発生した場合の緊急的な受入体制の整備や患者搬送体制の充実を図ることとする。</p> <p>2 事業内容 (1) 入院患者受入体制の整備</p> <table border="1" data-bbox="483 943 1342 1478"> <tr> <td data-bbox="483 943 628 1108">概要</td> <td data-bbox="628 943 1342 1108">患者が発生した場合の受入準備のため、府立医科大学附属病院C2号病舎において感染管理上必要な設備・備品の整備を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1108 628 1232">受入対象</td> <td data-bbox="628 1108 1342 1232">知事から府立医科大学附属病院に入院するよう勧告を受けたSARS真性患者、可能性例患者等。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1232 628 1478">整備内容</td> <td data-bbox="628 1232 1342 1478">滅菌処理装置 トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル) 防護服 人工呼吸器(感染症対応型) ポータブルX線装置 他</td> </tr> </table> <p>(2) 患者搬送体制の充実</p> <table border="1" data-bbox="483 1559 1342 1848"> <tr> <td data-bbox="483 1559 628 1724">概要</td> <td data-bbox="628 1559 1342 1724">複数地域での同時発生時等に備え、患者搬送体制に万全を期すため、トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル)の整備を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1724 628 1848">配備場所 (各1台)</td> <td data-bbox="628 1724 1342 1848">4保健所(相楽、中部、中丹、丹後医療圏) (既存分と合わせて2次医療圏ごとに1台確保)</td> </tr> </table>			概要	患者が発生した場合の受入準備のため、府立医科大学附属病院C2号病舎において感染管理上必要な設備・備品の整備を行う。	受入対象	知事から府立医科大学附属病院に入院するよう勧告を受けたSARS真性患者、可能性例患者等。	整備内容	滅菌処理装置 トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル) 防護服 人工呼吸器(感染症対応型) ポータブルX線装置 他	概要	複数地域での同時発生時等に備え、患者搬送体制に万全を期すため、トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル)の整備を行う。	配備場所 (各1台)	4保健所(相楽、中部、中丹、丹後医療圏) (既存分と合わせて2次医療圏ごとに1台確保)
概要	患者が発生した場合の受入準備のため、府立医科大学附属病院C2号病舎において感染管理上必要な設備・備品の整備を行う。												
受入対象	知事から府立医科大学附属病院に入院するよう勧告を受けたSARS真性患者、可能性例患者等。												
整備内容	滅菌処理装置 トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル) 防護服 人工呼吸器(感染症対応型) ポータブルX線装置 他												
概要	複数地域での同時発生時等に備え、患者搬送体制に万全を期すため、トランジェット・アイソレータ(患者搬送用カプセル)の整備を行う。												
配備場所 (各1台)	4保健所(相楽、中部、中丹、丹後医療圏) (既存分と合わせて2次医療圏ごとに1台確保)												
担当課・係名	府立医科大学 病院管理課 管理係 健康対策課 感染症係	課・係 電話番号	075-251-5233 075-414-4723										